



2025年4月30日

各位

会社名 アストマックス株式会社
代表者名 代表取締役社長 牛嶋 英揚
(東証スタンダード・コード 7162)
問合せ先 執行役員 西潟 しのぶ
電話 03-5447-8400

剰余金の配当に関するお知らせ

当社は、2026年4月30日開催の取締役会において、下記のとおり、2026年3月31日を基準日とする剰余金の配当(期末配当)について決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 配当の内容

	決定額	直近の配当予想 (2025年5月15日公表)	(ご参考)前期実績 (2025年3月期)
基準日	2026年3月31日	同左	2025年3月31日
1株当たり配当金	8円00銭	未定	7円00銭
配当金の総額	105百万円	—	86百万円
効力発生日	2026年6月12日	—	2025年6月27日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

(注)当社は、2015年6月26日に開催いたしました第3期定時株主総会において、剰余金の配当を取締役会決議で行える旨の定款変更を行っております。

2. 理由

当社は、継続的に企業価値を高め、持続的な利益成長による配当額の増加を目指してまいりたいと考えており、当社の剰余金の配当は、従来より連結当期純利益の30%を目途(但し電力ヘッジ取引等による影響額を考慮する)に、期末配当を年1回行うことを基本としておりますが、既にお知らせしているとおり、「中期ビジョン 2028」の期間中、2028年3月期までは、1株当たり7円の配当を下限とする期末配当年1回を基本方針としております。

当連結会計年度においては、従来の電力ヘッジ取引にかかる影響額(詳細は「3. 2026年3月期のヘッジ取引に係る影響額について」をご参照ください。)を考慮した上で、株主還元の安定性と期間収益が創出するキャッシュフローの状況や電力ヘッジ取引にかかる影響額の考慮前とは言い利益剰余金が大きく増加した等も考慮し、一株当たり8.00円の配当とさせていただきます。

(ご参考)年間配当の内訳

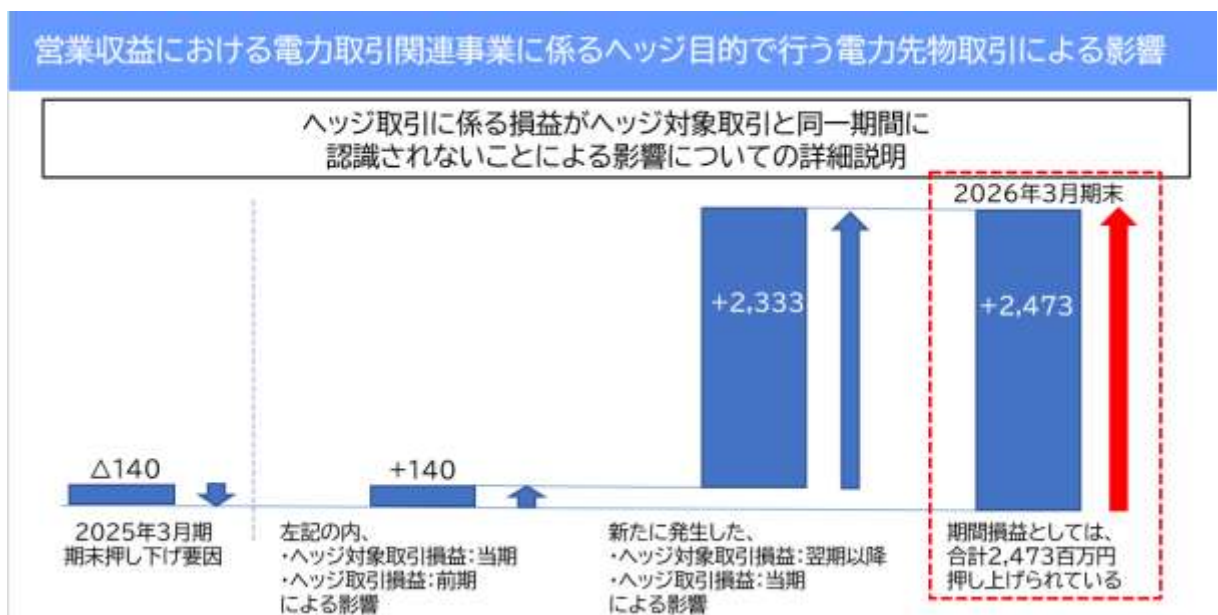
基準日	1株当たり配当金(円)				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
当期実績(2026年3月期)	—	0円00銭	—	8円00銭	8円00銭
前期実績(2025年3月期)	—	0円00銭	—	7円00銭	7円00銭

3. 2026年3月期のヘッジ取引に係る影響額について

電力取引関連事業においては、電力現物先渡取引の価格変動リスクをヘッジする目的で電力先物取引を利用しております。電力現物先渡取引は受渡が完了した時点で損益を計上する一方、電力先物取引はデリバティブ取引として時価評価を行い損益を計上しているため、電力現物先渡取引に係る損益と電力先物取引に係る損益の計上時期が相違しております。

当連結会計年度における、電力現物先渡取引が当連結会計年度の受渡にもかかわらず前連結会計年度に計上された電力先物取引に係る損益と、電力現物先渡取引が当連結会計年度末を越えて受渡が行われるにもかかわらず当連結会計年度に計上された電力先物取引の損益は差し引き+2,473百万円であり、当連結会計年度の損益を実質的に押し上げる要因となっております。

そのため、一株当たりの配当金額は、会計上の損益から2,473百万円を控除した金額を基に、取締役会で配当金額を決定いたしました。業績については、本日開示の「2026年3月期連結業績速報値と2025年3月期連結業績との差異見込みに関するお知らせ」をご参照ください。



以上